

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2009年5月3日現在

概況 オレゴン州の2009年5月3日に終る1週間の気象は、降雨を伴う荒れ模様で始まり、気温は低目の気象となった。各地の気温は平年を下回り、Willamette Valleyの最高気温は69～72度F、平均気温は平年を2～3度F下回った。NC地区の最高気温は61～66度Fと低く、平均気温は平年を3～6度F下回った。1週間の降水量はWillamette Valleyに於いては1.14～1.64インチ、NC地区では0.55～1.49インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.3日（前週：6.6日）となった。Topsoilの土壌水分は前週より改善したが、Subsoilは“Surplus”と“Short”が増加した。NC地区では気温が引くかったが、降雨は冬小麦並びに春小麦にとり有効であった。Sherman郡では、冬小麦にアブラムシが発生し、薬剤散布が実施された。同郡の夜間の気温は12度F迄下り低温とアブラムシの為冬小麦の作柄が落ちたが、全州平均では冬小麦の作柄は前週より多少改善した。春小麦はの播種作業は降雨の為余り進まず、前週より4ポイント増加で85%の完了に止まり、50%の播種圃場にて出芽した。播種並びに出芽は昨年並びに5年平均より遅れていた。

土壌水分(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	1	8	84	7
	Last week	1	15	74	10
Subsoil	This week	4	19	66	11
	Last week	6	14	71	9

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	14	42	37	7
Last week	1	14	46	32	7

春小麦の生育状況(*)

Spring wheat (%)	This week	Last week	Last year	5-Yr. Average
Planted	85	81	96	83
Emerged	50	41	76	73

(*) Source: National Agricultural Statistic Service, USDA-Oregon Field Office. 5-yr average means average of 2004,2005,2006,2007 and 2008 crop years